

平成28年1月27日

第3回総合教育会議記録

石巻市教育委員会

平成27年度第3回石巻市総合教育会議記録

◇開会年月日 平成28年1月27日（水曜日） 午前10時00分開会
午前10時39分閉会

◇開催の場所 庁議室

◇出席者 6名

| | | | |
|------------------|---------|-----|----------|
| 市長 | 亀山 紘 君 | 委員長 | 阿部 邦英 君 |
| 委員 (委員長職務代行者) | 津嶋 ユウ 君 | 委員 | 今井 多貴子 君 |
| 委員 | 窪木 好文 君 | 教育長 | 境 直彦 君 |

◇欠席者 なし

◇説明のため出席した者の職氏名

(市長部局)

| | | | |
|------|---------|--------|---------|
| 総務部長 | 和泉 博章 君 | 総務部次長 | 大内 重義 君 |
| 総務課長 | 稲井 浩樹 君 | 総務課長補佐 | 佐々木 壘 君 |

(教育委員会事務局)

| | | | |
|-----------------------------|---------|---------------|----------|
| 事務局長 | 草刈 敏雄 君 | 事務局次長 | 末永 秀夫 君 |
| 事務局次長 (震災復興担当) | 太田 敏彦 君 | 教育総務課長 | 佐々木 貞義 君 |
| 教育総務課 課長補佐 | 石井 透公 君 | 教育総務課 教主任幹 | 加藤 陽子 君 |
| 学校教育課長 | 今泉 良正 君 | 学校安全課 推進課長 | 伊藤 雄 君 |
| 生涯学習課長兼 複合文化施設 開設準備室長 | 佐藤 徳郎 君 | 体育振興課長 | 佐藤 敏彦 君 |

◇協議・調整事項

- (1) 教育等の振興に関する施策の大綱（修正案）について
- (2) その他

午前10時00分開会

○総務課長（稲井浩樹君） 皆様おはようございます。

定刻となりましたので、ただいまから平成27年度第3回石巻市総合教育会議を開催いたします。

開催に先立ちまして、報道機関の方より写真撮影の申し出がございます。本件につきましては、石巻市総合教育会議運営要綱第8条第5号ただし書の規定によりまして、議長が会議に諮り、出席者の了承を得るものとされておりますので、議長からお諮りいただきたいと存じます。よろしく願いいたします。

○市長（亀山 紘君） それでは、皆様にお諮りいたします。

報道機関の方より写真撮影の申し出がありましたが、石巻市総合教育会議運営要綱第8条第5号ただし書の規定により許可することとしてよろしいでしょうか。

（「はい」との声あり）

○市長（亀山 紘君） はい、ありがとうございます。

それでは、報道機関の皆様におかれましては、写真撮影を許可することといたします。

○総務課長（稲井浩樹君） 報道機関の皆様におかれましては、会議の妨げとなるような行ないがないようご協力をお願い申し上げます。

市長挨拶

○総務課長（稲井浩樹君） それでは、始めに、亀山市長からご挨拶をお願いいたします。

○市長（亀山 紘君） おはようございます。

教育委員の皆様には、大変お忙しい中、ご出席を賜りまして誠にありがとうございます。

昨年10月9日に開催いたしました第2回石巻市総合教育会議におきましては、教育等の振興に関する施策の大綱案や教育委員会の来年度の重点事業について、阿部委員長様を初め、委員の皆様と活発な意見交換をさせていただきました。教育委員会で取り組んでいるさまざまな事業についてご説明をいただき、大変実り多き委員会だった、会議であったと思っております。教育委員会の皆様方と力を合わせ、本市の教育行政を推進してまいりたいと考えておりますので、引き続きどうぞよろしくお願いいたします。

さて、本日は、さきの会議におきましてさまざまな意見が出されました大綱（案）について、事務局より修正案が出されております。委員の皆様から忌憚のないご意見等を賜りたいと考え

ておりますので、どうぞよろしくお願ひいたします。

甚だ簡単ではございますが、挨拶とさせていただきます。どうぞよろしくお願ひします。

(1) 教育等の振興に関する施策の大綱(修正案)について

○総務課長(稲井浩樹君) 続きます、次第3の協議・調整事項に入らせていただきます。

ここからの会議の進行につきましては、市長にお願ひをいたします。

○市長(亀山 紘君) それでは、早速ですが、次第3の協議・調整事項に入らせていただきたいと思ひます。

会議の主宰者であります私のほうで議長を務めさせていただきたいと思ひますので、ご協力をよろしくお願ひいたします。

では、前回の会議で修正することとなりました教育等の振興に関する施策の大綱の修正案について、事務局から説明をお願ひいたします。

○事務局 それでは、事務局より教育等の振興に関する施策の大綱(修正案)についてご説明いたしますので、お手元にごございます資料のうち、A4判の教育等の振興に関する施策の大綱(修正案)の修正箇所記載版の2ページから3ページ、並びにA3判の教育等の振興に関する施策の大綱(案)に対する意見及び対応等一覧をご覧願ひします。

昨年10月9日に開催されました第2回石巻市総合教育会議におきまして、大綱(案)に対し皆様からさまざまなご意見をいただきました。今回、それらを整理し、改めて修正案として作成したものでございます。

では始めに、A3判の対応等一覧のナンバー1、基本方針1の中の基本目標1、「時代に対応した教育の推進について」でございますが、時代の変化に対応した教育ということがどのような意味を持つのかという質問がございましたが、こちらについては、対応等一覧のとおり説明がございました。

次に、ナンバー2、同じく基本目標1中の内容(ポツ1)ですが、「どのような時代にも対応できる人間として主体的に社会の変化に対応し、自ら考えて判断し行動する「生きる力」を持った人を育成するために、そのベースとなる基礎学力の向上を目指します」のところでは、次のようなご意見がありました。

「基本目標1の「時代の変化に対応した教育の推進」という文言と、ポツ1の「どのような時代にも対応できる人間として…」の前置き部分が同じなので、基本目標が動かせないのであれば、その部分は要らないと思われまふ。また、その次の部分「主体的に社会の変化に対応し

…」はよく言われていることなので、こちらを目標に生かしてもいいのかとも思うので、検討が必要だと思います。

さらに、ポツ1の最後の部分「そのベースとなる基礎学力の向上を目指します」という言葉が基本目標1の中ではないのではないか、細か過ぎるのではないかと、そういう「生きる力」を持った人間を育成することを目指すというのが、まず、大きい基本目標1の中の丸ポツなのではないかと思います。だから、「そのベースとなる基礎学力の向上」というのは、基本目標2のところでもた言われています。

基本目標1がまず大きい目標だとして、それより具現化したところに基本目標2が来ているのかなという押さえ方もできるので、もう一度検討が必要かと思います。」

このご意見に対する対応といたしまして、まず、基本目標1の「時代に対応した教育の推進」は、現行の石巻市教育ビジョンの第1の目標となっており、また、本大綱（案）におきましても基本目標1として掲げておりますことから、基本目標1は動かさないこととしたいと考えております。

また、ポツ1の「どのような時代にも対応できる人間として」という、基本目標1と同じ部分をご意見のとおり削除をしますとともに、最後の部分、「そのベースとなる基礎学力の向上」という基本目標2の内容、ポツ1と同じ部分は削除したいと考えます。

以上により、ポツ1につきましては、次のように修正したいと思います。

「主体的に社会の変化に対応し、自ら考えて判断し行動する「生きる力」を持った児童生徒の育成を目指します。」

また、ポツ2の最後の部分、「確かな学力の育成を図ります」の部分につきましても、ご意見のとおり削除し、次のように修正したいと思います。

「児童生徒に夢や希望を持たせ、未来を生きるために必要な学力を身に付けさせるために、教師の指導力の向上、児童生徒の学習習慣の育成、志を高めるための取組を展開します。」

以上によりまして、基本方針1につきましては、基本目標1がまず大きい目標だとして、それより具現化したところに基本目標2が来ているという押さえ方となります。

次に、ポツ3の「豊かな自然に親しみ、自然の事物・現象の中から問題を見い出し、探究活動を通して、科学的に調べる能力や態度、問題解決能力の育成を図ります」のところでは、次のようなご意見がありました。

「石巻は自然環境に非常に恵まれたところ。そういう自然を子供たちがしっかり学んで、それを通して自ら学ぶ力を育んでもらいたい。自然科学教育を重点的に進めていくことで、創造

性とか適応能力が高められると思っているので、この取組を強めていきたいと考えています。」

このポツ3につきましては、前のポツ1、ポツ2を修正したことによって、基本目標1を達成するための大きな内容というよりは、基本目標2の、「児童生徒の確かな学力を育成する」を具現化するための一つの大きな方策としてよりふさわしいものとなりました。自然科学教育を重点的に進め、創造性や適応能力を高めることによって、自ら学ぶ力が育まれることによって確かな学力につながるものと思われまことから、ポツ3につきましては、基本目標2の「児童生徒の豊かな心と体、確かな学力の育成」を具現化するための方策として位置づけし、基本目標2のほうへ移動したいと思います。

次に、ナンバー4、基本方針2中の基本目標4、「学校、家庭、地域等が連携して子どもの成長を支える体制づくり」につきましては、次のようなご意見がありました。

「「連携」でなく「協働」としてもいいのかなという気持ちもあります。学校が中心となりますけれども、やはり、家庭、地域が連携していくこと、協働していくということは、これからの地域づくりにとっても、学校教育にとっても必要なことではないかと思えます。

子供たちは、地域の人たちと連携して何かをすることに喜びを感じています。地域の人たちが学校に入ってくることによって得るものは大きいと思えます。

学校、家庭、地域との連携というのは以前から言われてきましたが、「協働」となれば、より効果が出てくるものと思えます。」

こちらにつきましては、ご意見のとおり、「学校、家庭、地域等が協働して子どもの成長を支える体制づくり」に修正したいと思います。

次に、同じく基本方針2、基本目標4中のポツ1「学校、家庭、地域、民間団体等が相互に連携し、それぞれの役割を認識しながら、子どもの健やかな成長を支えていく体制づくりを推進します」につきましては、「基本目標4の文言と中身が同じであり、内容に具体性がない。大事なところなので、もう少し具体的なことが入ってくるべきと思えます。」などのご意見をいただきました。事務局で再度検討し、次のように修正いたしましたので、A3判の資料の2枚目、別紙をご覧ください。

上段の箱の部分に変更前、下の部分に変更後となります。基本目標4の、「学校、家庭、地域が協働して子どもの成長を支える体制づくり」を実現するための具体的な内容とするため、1点目として、基本目標4の中の文言と中身が同じであったポツ1は削除したいと思います。

続きまして、2点目は、ポツ2はそのまま残し、ポツ1といたします。学校、家庭、地域が

協働することにより、子供の豊かな学習機会が提供されるとともに、地域住民に新たな学習活動が生み出されますことから、本市として協働教育を推進するというものでございます。

3点目として、ポツ2、ポツ3が、今回具体的に追加した内容でございます。ポツ2につきましては、学校、家庭、地域が協働して子供の教育に携わることができるよう、交流・情報交換できる環境の整備に努めるものでございます。ポツ3につきましては、協働教育の推進のためには、地域においてその基盤となる組織の構築が必要不可欠であり、そのための調整役となるコーディネーターの発掘や養成を図るものでございます。

なお、以上の修正箇所を全て修正した後の大綱案を、お手元にご覧いただけます修正後版としてお手元にお配りしてございます。

以上で、大綱修正（案）に関する説明を終わらせていただきます。

○市長（亀山 紘君） ありがとうございます。

それでは、これからご意見、ご質問に入らせていただきますけれども、何か、委員の皆さんからございませんでしょうか。

「時代の変化に対応した教育の推進」で、かなり整理された形になったと思います。それと、確かな学力の育成のほうに、基本目標1から2へ移動したことで、整理したことでスッキリしたのではないかと思います。

基本目標1の中に、具体的に市立桜坂高等学校のところもありますよね。この部分について、何となく違和感を覚えているんですけども、委員の皆さんからはどうですか。入れたいという気持ちは何となくわかるのですが。

（発言する者なし）

○市長（亀山 紘君） 基本目標1については、この修正案でよろしいでしょうか。

（「はい」との声あり）

○市長（亀山 紘君） それから、基本目標2については、基本目標1から「豊かな自然に親しみ」というところを持ってきて、基本目標2に入れて修正されておりますけれども、これもよろしいですか。

（「はい」との声あり）

○市長（亀山 紘君） それから、基本目標4の部分で、これも前回条文がありましたけれども、「協働」という言葉で取り組んでいただくということで、今現在も協働教育という部分で進めていただいておりますので、「協働」の考え方ということを新規に追加していただきました。基本目標4についてはいかがでしょうか。

(「はい、お願いします。」との声あり)

○市長(亀山 紘君) どうぞ。

○教育委員長(阿部邦英君) 意見というよりも、感想といいますか、そういったところですが、実はこの、学校、地域、家庭の連携ということは、私が社会教育主事講習を受けた30年前から叫ばれていたんですが、なかなか進展がしないといいますか、どうも学校だけに比重がかかってしまって、連携の言葉だけが踊っていたという感じがいたします。そのことから、このごろ、協働という言葉を入れて、一緒に子供たちの成長に対してかかわっていくんだという意識を市民の方々、あるいは学校もそうですけれども、行政と地域をそういったことで進めているのが現状だと思います。それで、やっぱり協働という言葉を入れたのはよかったと感じております。一步こう、進んだという感じがいたします。

以上です。

○市長(亀山 紘君) ありがとうございます。

30年も前から言われていたのですか。

○教育委員長(阿部邦英君) そうですね。はい。学社連携ということですか。

○市長(亀山 紘君) ああ、そうですか。

○教育委員長(阿部邦英君) なかなか、学校だけに比重がかかってしまって。

○市長(亀山 紘君) むしろ、今はあれですよ、地域の方々が、協働という考え方がやっとう浸透してきて、自分たちも地域で地域の課題を解決する、あるいは教育も地域で支えていくという、そういった考え方がかなり地域に浸透してきていると思いますから、今、これをもっともっと進めていくということが、これからの教育にとっても非常に必要なことではないかと思えます。

そのほかございませんか。

(発言する者なし)

○市長(亀山 紘君) では、基本目標4についても修正案でよろしいでしょうか。

(「はい」との声あり)

○市長(亀山 紘君) そうすると、修正箇所は以上ですが、そのほかに何か気付かれたところがありましたら、ご意見をいただきたいと思えます。

○教育委員(今井多貴子君) やはり感想になるかと思いますが、基本方針2の基本目標4の、さっき委員長がおっしゃったところの丸ポツ3のところですが、地域に協働ということで入っていくことによって、コーディネーター、スキルを持った人材の確保をすごく期待しています。

どんどん、いろいろなスキルを持った方が前面に出て協力して、子供たちの育成にかかわって
いってほしいと思いました。それで、ここがとても整理されていて、わかりやすく、よろしい
のではないかと思います。

それから、基本方針3のところですが、基本目標5のところ、丸ポツ3番のところですね、
学校と地域が同じレベルの災害対応能力を常に身に付けておく必要があると感じていたもの
ですから、とてもよくわかりやすく整理されていると思いました。災害時に対するだけでなく
て、一人一人が常に有事に備えて危機管理能力を高めて身に付けていく必要性を、このごろい
ろいろなことがあり、感じているものですから、ここに丸ポツ3としてきちんと入れていただ
いたことがとても評価できて、これからの期待になると思います。

以上です。

○市長（亀山 紘君） ありがとうございます。

そのほかの委員も何かございますか。

○教育委員（津嶋ユウ君） 全体としましては、第2回の会議でいろいろな意見を出させてい
ただいたものを検討していただいて、大変修正された内容になっているということを感じまし
た。特に、各基本目標における具体的な取組内容というのがそれぞれに合った内容で、これま
での事業の継続、拡充するものと、あと、新規にやっっていこうとしているものがうまく織り
まぜられているということも感じて、新規にやっっていくものについては今後どのようにしてい
くのかも知りたいというところもあるんですけども、そんなことで、全体的にはよくまとめ
られたと思います。

あと、先ほど市長さんもおっしゃったのですが、私も基本目標1のところの桜坂高校につい
ては、一応、基本方針1の中の目標1を大きいこと、そして基本目標2を具体的なことと捉え
たらどうかと、私も前言ったようなことなんですけれども、そうすると、確かに少し高校のこ
とは具体的過ぎるんですよ。ただこれを、どこかほかのところに入れるとなると、入れる場
所がない。でもやはり、市としては、今後の教育として高校の取組というのは大事だとい
うことを言わなければならないということで、やはりここに残さなければいけないのではないかと
は思います。

ただ、内容が少し具体的過ぎるかと思います。今からまた直してもらわなきゃいけないと思
います。3行あるうちの、三本柱を具体的に述べているあたりが少し具体的過ぎるので、違和
感を感じるのかなとも思います。そこを少し簡単にして、後半のほうでまとめれば、桜坂高校
という新しい学校でこういう高校生の教育をしていくんだというのが大きく出されればいいの

ではないかなと感じました。

○市長（亀山 紘君） ありがとうございます。

これはちょっと検討していただいて、それで、修正が必要なら修正していただくということをお願いします。どうしてもこれを、私が言うのもあれなんですけれども、思いはわかるんです、私もね。

よろしいですか。

あと何か、どうぞ。

○教育委員（窪木好文君） 私も感想になるかと思うんですけれども、整理されてバランスのいい大綱になったかなと思います。やはり、協働ということに関して、また、基本方針の2の丸ポツにも「豊かな自然に親しみ」というところ、学校の授業で普通に生活しているものと、あと、やはり総合学習ですとか職場体験とか、そういうところで体験したことは大分印象が違って、何かをやっている方の話を聞くとか、そういうところで新たな発見が多分児童生徒に与えられるのではないかなと思いますので、協働で、より地域の人とか地域の会社とか、そういう団体の方たちと触れ合うことによって、また新たなきっかけとか気づきというものが生まれるんだなというふうに、いいことだなというふうに思います。

○市長（亀山 紘君） ありがとうございます。

大体、被災地である石巻には、多くのボランティアの皆さんからご支援をいただいて、やはりその地域に住んでいる人たちが、自分たちが、今ある環境とかあるいは教育の問題とか、いろいろありますが、やはり、気が付いたら地域で取り組むというような、そういった姿勢が私は随分できていると、出てきているのではないかなと思います。そういう意味では、震災を経験して大変な思いをしたけれども、一つの、これからの地域の発展にはやっぱりこの協働教育等々という考え方で進めていくのが一番ではないかと思っています。

そうすると、今、感想もいただきましたけれども、大筋、皆さんこの大綱（案）で、修正案でよろしいということですね。

（「はい」との声あり）

○市長（亀山 紘君） ありがとうございます。

それでは、事務局には大綱の策定事務を、この案で進めていただきたいと思います。若干、桜坂高校のところについてはちょっと検討させていただいて、もし必要なら修正するというところでお願いいたします。

(2) その他

○市長（亀山 紘君） それでは、協議・調整事項の（2）のその他ですが、委員の皆様から何かございませんでしょうか。何でも結構です。前回もそうでしたけれども、その他になってから話が盛り上がりを感じております。その他は、私も非常にいろいろとご意見をいただけるので楽しみにしております。

今井委員、何かありますか。

○教育委員（今井多貴子君） 基本方針5のところにごく期待をしているということ、複合文化施設の活用をすごく期待します。なぜかという、今までは震災のことがあってから、子供たちと生徒たちってほとんど受け身的な、誰かが来て、受け身でこう、みんなやらせていただいていたのが、複合文化施設ができることによって、全学校、小学校、中学校を絡めた何か大きなことを、地域の文化交流みたいなことができたりとか、あと、外から来て、こんなふうなことができるんだということを実際に指導していただいたりとか、そんな大きな視野で複合文化施設が利用されたらおもしろいだろうなあということ、今、私はとても期待しています。それが一番の、今、子供たちにとって地域の宝になっていくのではないかと、そんな施設に育って行ってほしいなと思っています。

○市長（亀山 紘君） ありがとうございます。

これから基本設計に入ってまいりますけれども、何とか平成30年には着工に持っていきたいと考えていますので、少し時間はかかりますけれども、32年には完成させたいと考えています。

何とかいいものをつというか、やはり市民の皆さんがそこで創作活動をしていただく、あるいは音楽の力、あるいは歌の力で、心の復興を果たしていくためにも必要な施設だというふうに考えています。

何かございませんか。

○教育委員長（阿部邦英君） この大綱（案）に関連して、よろしいでしょうか。

○市長（亀山 紘君） はい。

○教育委員長（阿部邦英君） 先ほど市長さんがおっしゃられましたとおり、何回か修正を重ねてこの案ができたと思うんです。本案は、今の教育の現状と課題を見据えながら、これからの石巻市における望ましい教育のあり方についてまとめたものであると思います。

5つの基本方針や7つの基本目標、いずれもこれからの教育にとって大事な事柄だと思っております。それとともに、すばらしい案ができたかなと思います。市長さんのご助言やご指導もあって、よいものに仕上がったなと感じております。

今後は、本大綱に基づきまして、石巻市の関係各課や教育委員会、それから学校とか家庭、地域がこの案をしっかりと実践に取り組んでいくことが大切になってくると思います。そして、定期的にあるいは随時反省や評価を行って、よい方向に改善していくなどの取組が大切になってくると思いますので、石巻市の関係各課の皆様や教育委員会の皆様方の取組に期待をいたしますとともに、ご協力をお願いできればと思います。

以上、感想ですが、よろしくお願ひします。

○市長（亀山 紘君） ありがとうございます。

いや、もう本当に教育委員会の皆様のお力で、このような大綱（案）になりましたので、ありがとうございます。

何かありませんか。いいですか。

（「はい」との声あり）

○市長（亀山 紘君） 事務局からは、その他について何かございますか。

○事務局（石井透公君） 本日はご了承いただきましてありがとうございます。

本日ご了承いただきました大綱につきましては、今後、策定の手続を経た後に、市ホームページ等により公表する予定となっておりますので、引き続きよろしくお願ひいたします。

○事務局長（草刈敏雄君） 先ほど出ました、基本目標1の桜坂高校の部分ですが、少し検討させていただいて、最終的には市長決裁の中で策定ということになりますが、改めて総合教育会議を開催してということではなくて、基本的には了解をいただいたということで、市長決裁でこの部分については決めるということでご了解をいただきたいと思います。事前には、委員さん方にもお知らせをいただきたいと思いますが、よろしいでしょうか。

○市長（亀山 紘君） よろしいですか。

（「はい」との声あり）

○市長（亀山 紘君） ありがとうございます。

部長、各課長も何かありませんか。せっかくここに出席していただいているんですから、何かあったら、ぜひ発言していただきたいと思います。

○事務局長（草刈敏雄君） 教育委員会では、今回、この大綱が策定されたということで、あとは新しい教育振興基本計画ということで現在取りまとめをしておりますので、各項目について大綱の趣旨をもう少し掘り下げながら現在策定をして、29年度からの計画ということで進めております。その中には、これまでは教育ビジョンとか、あとはスポーツ関係はスポーツ関係ということで別々にしておりましたけれども、今後は振興計画ということで1つに取りまとめ

ていきたいと考えております。

○市長（亀山 紘君） 教育長さんから、この基本目標2の「豊かな自然に親しむ」、この項目について、取組について若干紹介していただければと思います。

○教育長（境 直彦君） 来月の議会に市長さんのほうで予算提案をお認めいただいて、サイエンスラボという新規事業を立ち上げるということで、最終的には議会の承諾を得てということで、構想として今練っております。小中学校の科学巡回教室というものを行って行って、あるいは教材の開発のお手伝いとか、それでもって教員の指導力の向上を図るとともに、子供たちの知的好奇心あるいは創造性の向上を図る事業を進めていくということを考えております。

来年度、そのような形で、一応、市長さんとも協議の上了解をいただいて、そのような形で進めていくということで、最終的には議会の承認を得てからということになりますが、そう考えております。

○市長（亀山 紘君） 非常に自然豊かな地域ですので、そういう自然を学んでいただいて、それで少しでも創造性豊かな子供たちに育ていただければと思いますので、議会を通して具体的になりましたならば、またお知らせさせていただきたいと思います。

○教育委員長（阿部邦英君） 大変いい計画ですので、ぜひ進めていただければと思います。

○市長（亀山 紘君） そうですね。石巻の場合だと、青少年のための科学の祭典を私10年間やりましたものですから、地域の先生方が積極的にかかわっていただいて、今も、今年はどうなるかわかりませんが、去年までずっと専修大学で継続して子供たちの科学教育をやっていました。

現場になかなか浸透していかないというところがありましたので、やはり必要なことは、理科教育とか自然教育に先生方が興味を持っていただくということが一番必要だと思いますので、先生方の育成というのが一番やっぱり必要なんじゃないかなと思います。少しでもそういう自然科学に目を向けていただいて、それで子供たちの自然観というか、そういったものに少しでも教育として進められればなという思いでございます。よろしく申し上げます。

そのほかございませんか。

（発言する者なし）

○市長（亀山 紘君） それでは、ないようですので、これで協議・調整事項を終了し、事務局にお任せしたいと思います。ひとつよろしく申し上げます。

○総務課長（稲井浩樹君） ありがとうございます。

以上をもちまして、平成27年度第3回石巻市総合教育会議を閉会いたします。

お疲れさまでした。

午前10時39分閉会

石巻市長 亀山 紘
署名委員 阿部 邦 英